



地域医密着型特定施設入居者生活介護 開所!

施設長 呉屋 克

この度、沖縄市の指定を受け、令和4年10月1日にラ・ページブル泡瀬「サービス付き高齢者向け住宅」1号館の3・4階を「地域密着型特定施設入居者生活介護(29床)」へ転換いたしました。

特定施設に転換するにあたり、ラ・ページブル泡瀬のご入居者様27名からスタートし、おかげさまで昨年12月で満床となり、現在はお待ちいただいている方もいらっしゃいます。

特定施設では**外部のサービス(デイ、ヘルパー等)ではなく、1号館1階の元デイサービスあわせのフロアを活用し、入浴・レク、リハビリ運動、マッサージ等のサービス**をご利用いただくシステムです(皆様にご好評いただいております♪)。

今後もさらなるリハビリテーションの強化と、より密にご家族と連絡を取り合い、入居者様の安心、安全を第一に考え、今後も「ラ・ページブル: やすらぎのある場所」となる施設づくりを目指していきます。

※ 入居要件は沖縄市に住所のある要介護1以上の方が対象となります(原則)。
ラ・ページブル泡瀬は平成22年4月に1号館(48戸)、平成25年4月に2号館(45戸)の「サービス付き高齢者向け住宅」を開所し、地域の方と共に歩んできました。
※ 「ラ・ページブル」とはオードリー・ヘップバーンがスイスに建てられた家に名付けられました。



介護福祉士実務者研修スタート

管理部 上原 宗哲

介護福祉士実務者研修とは、平成25年度からスタートし、平成28年度以降の「**介護福祉士国家試験**」を受験するために、**介護の実務経験3年と併せて修了が義務づけ**られた研修です。

医療法人タピックでは、沖縄県内の医療法人では一早く、平成27年度より法人内で実務者研修を実施し、これまで名護市の宮里病院にて総数64名の受講生へ研修を行って参りました。

この度、第8期より沖縄リハビリテーションセンター病院へ研修会場を移し、12名の受講生と共にスタートいたします。

タピックはこれからも**介護福祉士を目指す方々のサポート**を行って参ります。ご興味のある方は、下記の連絡先まで、お気軽にお問合せ下さい。



【タピック介護福祉士実務者研修 担当】

TEL: 098-982-1777

E-mail: kaigo-jitsumu@tapic-reha.or.jp

医師紹介

犬尾 仁 52歳
診療科 内科
趣味 素潜り



内科ではありますが、縁があり、アルコール依存症を支援に関わらせていただいております。今回、精神科医手塚先生からのお誘いで依存症専門病棟立ち上げに参加しました。診察は、内科外来でも対応しております。いずれ看取りを含めて「在宅医療」も展開する予定です。

山田 麻里江
診療科: リハビリテーション科
趣味: マラソン大会に出ること



沖縄県出身ですが、香川に6年、島根に2年在住し、昨年沖縄に帰ってきました。診察から生活支援まで学ぶことが多く、とても勉強になっています。よろしくおねがいします。

祝 感染認定看護師が誕生しました!

2022年12月に日本看護協会が認定する「感染管理認定看護師」の試験に合格いたしました。2021年度に**約7か月間**病院を離れ、沖縄県看護協会にて研修や中頭病院での実習を行いました。**県内外より25名の研修受講者がおりましたが全員が無事合格**し、今でもLINEで情報共有できる仲間が出来ました。研修受講に理解を示し協力頂いた理事長・副院長はじめ、皆様に心より感謝いたします。

感染管理認定看護師はICN (Infection Control Nurse) と呼ばれていますが、最近ではCNIC (Certified Nurse in Infection Control) とも呼ばれます。認定看護師は**特定の分野**において、**主に実践・指導・相談という3つの役割**がありますので、CNICの名にふさわしい役割を果たせるよう頑張っていきます。感染関連のことはもちろん、認定看護師に興味のある方は、気軽にお声かけ・相談ください。

今後は院内だけでなく、法人の関連施設や地域における感染対策についても**多角的な視点を持ち、活動の幅を広げていきたい**と考えています。タピックの目指す「健康といきがいのある元気なまちづくり」に感染管理という分野で貢献していければと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染症との戦いや共存が3年も過ぎ、この春に5類感染症へ引き下げていく方向で議論されています。コロナ禍で実践している感染予防策も、徐々に緩和されていく事が予想されますが、怖いのは新型コロナだけではありません。

引き続き、日頃の標準予防策の徹底をお願いします。



看護師 宜野座 智光

外国人技能実習生 (ベトナム)

看護師 宮城 章子



2022年11月よりベトナムから4名の外国人技能実習生を受け入れています。

外国人技能実習制度とは、国際貢献のため、発展途上国から外国人を受け入れ、日本の技能・技術・知識等を習得いただき、母国へ移転することを目的とする制度です。

彼らは日本入国後、神奈川県で日本語や介護技術などの知識を1か月間受講し、その後、医療法人タピック沖縄リハビリテーションセンター病院で実習をスタートしています。午前、病棟で実践を行い、午後は座学で振り返りを行っています。

今後も外国人技能実習生の育成を意欲的に取り組み、沖縄・そして医療法人タピックの特徴である、「**ちむぐる**」と「**タピックの理念(総合性・探索性・患者の立場・国際性・21世紀にふさわしい)**」を学んでいただけるよう努めてまいります。



職) 声掛け大事だからね

わからない事は確認

